

JCBA

No.187 Nov. 2024

Japan Customs Brokers Association



CONTENTS

- 2 令和6年度「通関業の日」記念日式典
- 15 臨時社員総会の開催
- 16 関税局長との意見交換会
- 19 令和6年度 第3回理事会の開催
- 20 事務局連絡会議の開催
- 21 通関業会だより
- 25 各通関業会業務報告

令和6年度

「通関業の日」記念日式典

(一社)日本通関業連合会は、10月8日(火)に令和6年度「通関業の日」記念日式典をホテルグランドアーク半蔵門で執り行った。

「通関業の日」は、平成29年10月8日の改正通関業法の施行を記念し、10月8日を「通関業の日」と制定し、本年度で7回目となる。

当日は、「通関業の日」会長特別表彰の表彰式、前世界税関機構(WCO)の事務総局長を3期15年務めた御厨邦雄様による記念講演会、そして懇談会が開催され、出席者は約300名に上った。

1. 「通関業の日」表彰式

午後4時から、ホテルグランドアーク半蔵門の「トパーズ」において、「通関業の日」会長特別表彰及び感謝状の贈呈式が行われた。

会長特別表彰は、女性通関士の活動に尽力され函館通関業会通関士部会幹事を務める田畑馨様に、感謝状は長きにわたり日本通関業連合会・通関業会で尽力された曾根好貞前通関業連合会副会長(大東港運(株)代表取締役社長)、富田泰史前通関業連合会監事(前誠貿易運輸(株)代表取締役社長)の両名に贈呈した。

表彰状 田畑 馨 様(函館通関業会幹事)

感謝状 曾根 好貞 様(前通関業連合会副会長)

富田 泰史 様(前通関業連合会監事)



曾根 好貞 様



田畑 馨 様



集合写真

2. 「通関業の日」記念講演会

午後4時40分から午後6時10分の間、同ホテル「富士」において「通関業の日」記念講演会を開催した。

講演会は、前世界税関機構（WCO）事務総局長の御厨邦雄様が登壇した。

御厨様は、1976年大蔵省に入省され、ジュネーブの日本代表部参事官、主計局給与課長及び主計官を経て、関税局監視課長、国際調査課長、大臣官房参事官を歴任。2001年、財務省から世界税関機構（WCO）次長に当選。2009年にはアジア地域から初のWCOのトップである事務総局長として就任し、3期15年にわたり事務総局長を務め、2023年12月をもって退任。その間、2008年に英国ケント

大学博士（国際関係論）を取得。2024年4月には、瑞宝重光章を受章されている。

講演会では、「世界税関よもやま話」と題して、世界各地の税関と税関を取り巻く政治経済の情勢、1990年代からのグローバル化とその行方、メガEPAなどの地域統合、電子商取引への対応、女性の活躍や環境保護など近年税関を取り巻く大きな流れと、税関の未来としてなすべき役割と対応を示すなど、長きにWCOのトップ、中核であった御厨様でしかなしえない貴重な内容の講演であった。

講演会の聴講者は、財務省関税局幹部、東京税関幹部、横浜税関幹部、関税局・税関OB、NACCSセンター、通関業会など、約300名が聴講された。

講演資料はP5より掲載。



岡藤会長



御厨前WCO事務総局長



会場③

3. 「通関業の日」懇談会

記念講演会に続き同ホテル「華」において「通関業の日」懇談会を開催した。

冒頭、前日本通関業連合会会長で、去る9月30日に死去された鈴木宏相談役（株式会社二葉代表取締役会長）に出席者全員による黙とうを捧げた。つ

づいて岡藤正策会長、来賓の高村泰夫関税局長、宮内豊元関税局長（日本不動産研究所理事長）による挨拶と故人への感謝と哀悼の意を捧げた後に厳かに献杯した。

懇談会には約300名が参加し、名古屋通関業会の柘植会長の中締めでお開きとなった。



宮内元関税局長



高村関税局長



柘植理事 中締め

令和6年度「通関業の日」記念日講演



世界税関よもやま話

2024年10月8日

WCO前事務総局長 御厨邦雄

1

世界税関機構 WCO

- 税関の政府間国際機関(本部ブリュッセル・ベルギー、1952年設立、当初17⇒186加盟国・地域)



(WCOのロゴ)



(設立70周年のロゴ)



- 国際貿易のインフラ
 - ❖ 国と国は国境が分断し、税関が繋げる
- 官民協力
 - ❖ WCO基準策定や執行での協力、能力増強
 - ❖ IFCBA(国際通関士連合)

2

世界税関機構の発展

- 貿易自由化対応(1952-1993)―手続の簡素化、調和化
 - ❖ 欧州経済共同体(1958)の技術的基盤
 - ❖ 日本(1964) 米国('70) 中国('83) ロシア('91)
 - ❖ 関税分類(1988発効)
- グローバル化対応(1994-2004)
 - ❖ WTOの発足、改正京都規約(1999合意)
 - ❖ 地域の情報交換の強化
- サプライチェーンの安全・円滑化対応(2005-2017)
 - ❖ テロ攻撃(2001)、SAFE基準の枠組み(2005)
 - ❖ 貿易円滑化、途上国支援
- デジタル化及び環境対応(2018-)
 - ❖ 電子商取引、気候変動、コロナ禍、米中対立
 - ❖ サプライチェーンの強靱化、データ戦略



3

ベルギー

- 欧州の中心
 - ❖ フランス、ドイツに挟まれた歴史
 - ❖ フランス語、オランダ語、ドイツ語
 - ❖ 欧州連合(EU)の所在地
- 国境
 - ❖ 関税同盟
 - ❖ 国境検査の廃止(1992年末)
 - ❖ アントワープ港 欧州への入り口、英国離脱
 - ❖ コカイン密輸と取締り
- WCO本部所在地
 - ❖ 職員250名、80国籍



4

旧ユーゴスラビア連邦

- 多民族国家(1943-92年)
 - ❖ 6つの共和国、5つの民族、4つの言語、3つの宗教
- 90年代内戦、連邦の解体
 - ❖ 国境、税関の樹立
 - ❖ 産業誘致
- コソボ加盟問題
 - ❖ セルビア、国内分離問題を抱える国の反対



5

旧ソ連諸国

- 旧ソ連諸国(15カ国)
 - ❖ バルト3国
 - ❖ ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバ
 - ❖ コーカサス3カ国
 - ❖ 中央アジア5カ国
- アジア欧州の通過ルート
 - ❖ 歴史的なシルク・ロード
 - ❖ ロシア シベリア鉄道
 - ❖ 中央アジア=コーカサス
 - ❖ 制裁の迂回



6

中東

□ アラブ連盟

- ❖ イスラエルとパレスチナ
- ❖ レバノン ベイルート港の危険物爆発(2020)
- ❖ 湾岸の産油6カ国 君主国 厳格な国境取締から 貿易・ビジネス・観光重視へ

□ 自由貿易地区 FTZ

- ❖ アラブ首長国連邦 ドバイ
- ❖ 知的財産権保護



7

アフリカ大陸

□ 地域統合

- ❖ 東アフリカ(英語圏が多い)
- ❖ 西アフリカ(フランス語圏が多い)
- ❖ 南部アフリカ(関税同盟)
- ❖ アフリカ大陸自由貿易圏

□ 脆弱な国境

- ❖ 国境武装集団 西アフリカ内陸
- ❖ 税関の貢献

□ 税関手続き

- ❖ 通関業の整備
- ❖ 船積前検査



8

米大陸

- 米国税関の変遷
 - ❖ 歳入、貿易、密輸取締から国家安全保障へ
 - ❖ 移民問題、保護主義的な動き
- カリブ海
 - ❖ 観光、薬物、銃器
- 中南米
 - ❖ 通関業界の強さ ASAPRA
 - ❖ 認定業者 AEO に関心
 - ❖ 日系人



9

アジア大洋州

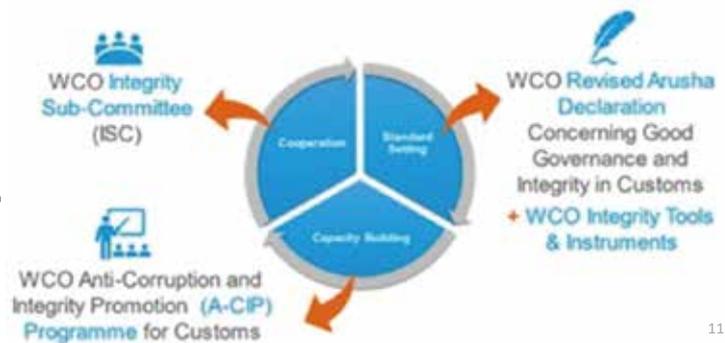
- 東南アジア アセアン
 - ❖ 自由貿易圏
 - ❖ シングル・ウィンドウ
- 南アジア インドの改革
 - ❖ 物品サービス税、個人カード導入
- 中国 検疫も統合し強大な権限
 - ❖ 一帯一路
- 豪州 国境警備隊
 - ❖ 太平洋島嶼部



10

汚職対策

- 途上国の抱える大きな問題
 - ❖ 関税支払い回避
 - ❖ 他の業者より有利な扱いの依頼
 - ❖ 社会的な圧力
- 改善策
 - ❖ 高関税率や広範な関税免除措置の回避
 - ❖ 税関手続きの簡素化、IT活用
 - ❖ 職員の職場環境改善(給与)
 - ❖ 人事管理(研修、異動、メリットベースのキャリアパス)



11

キャパシティビルディング(日本資金)

- ❖ プラスティック廃棄物のコンテナの研修(アジア税関職員のリッテルダム港訪問)
- ❖ コロナ禍関連の医療品・ワクチンの検査研修(ブラジル)
- ❖ 税関幹部のWCO本部での養成
- ❖ WCO地域研修所(フィジー)で税関トレーナーの養成



12

税関を取り巻く環境①:グローバル化の行方

- 1990-2000年台前半 Hyper Globalization
 - ❖ コンテナ、情報技術(IT)の進展→サプライチェーン管理
 - ❖ Global Value Chain (生産工程の細分化とオフショア化)、中間材貿易
 - ❖ WTO 中国加盟(2001年)、市場開放と貿易円滑化
 - ❖ 投資による生産基盤整備と技術移転、消費市場の拡大→貧困削減

- 2000年台半ば以降 Slowbalization
 - ❖ GVC構築の一巡、中国で部品内製化→貿易の伸び鈍化
 - ❖ グローバル化と所得格差→先進国でプッシュバック
 - ❖ グローバル・サウス
 - ❖ ルール・ベースよりもパワー・ベース
 - 保護主義的産業政策
 - WTOの弱体化、地域協定への影響



13

税関を取り巻く環境①:グローバル化の行方(続)

- サプライチェーンの強靱化—経済性—辺倒からの変化？
 - ❖ コロナ禍:サプライチェーンの混乱と衛生材の一極集中
 - ❖ ロシアのウクライナ侵攻
 - ❖ デカップリングよりもデリスキング→フレンドショアリング(特定産業)

- 気候変動対策
 - ❖ クリーン・テクノロジーによる産業振興

- 経済安全保障—先端産業(半導体、グリーン)の産業政策
 - ❖ 中国 「中国製造2025」(2015)
 - ❖ 米国 対中国関税(2018)、反インフレ法、半導体法(2022)
 - ❖ EU グリーン産業プログラム、半導体法(2023)
 - ❖ 日本 半導体助成(2023)、グリーン経済移行債(2024)



14

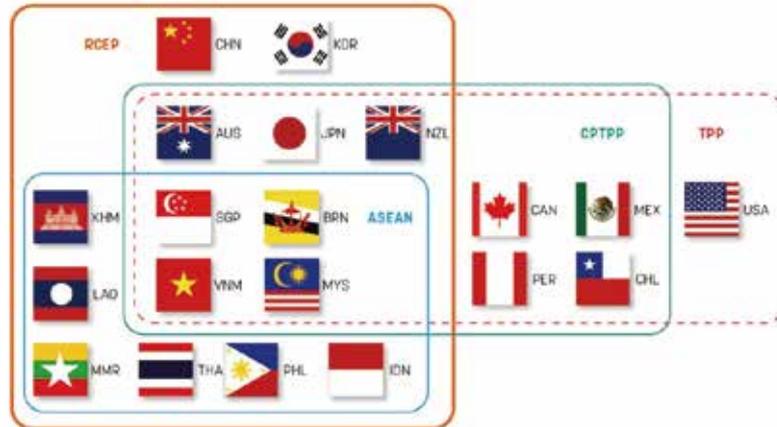
税関を取り巻く環境②：地域統合

アジアのメガ自由貿易協定

- ❖ ASEAN
- ❖ TPP11 (CPTPP)
- ❖ RCEP

税関の役割

- ❖ 協定の実施
- ❖ 原産地規則の普及（優遇税率の適用）



15

税関を取り巻く環境③：電子商取引

□ インターネット取引

- ❖ コンテナから小包へ リスク判定や検査の困難化
- ❖ 税関に不慣れな消費者や零細事業者、インターネット事業者
- ❖ 密輸に悪用の事例多発



□ 各国の改革案

- ❖ WCO基準の枠組みデータ収集と共有、パートナーとの連携（プラットフォーム、郵便、急送貨物業者）
- ❖ EU 欧州関税庁とデータ・ハブの創設

□ テクノロジーの活用



16

税関を取り巻く環境④: 女性の活躍

□ 女性の関税局長・関税庁/歳入庁長官の数

❖ 23名(13%、2018年) → 31名(17%、2023年)



ドイツ関税局長 (1/2022)



フランス関税局長 (2/2022)



オランダ関税局長 (左)
(10/2022)



WCO主催HSセミナー
(於モルドバ、6/2022)

□ Gender Equality & Diversity(GED)の推進

❖ WCO・税関GEDグローバル・ネットワーク

17

税関を取り巻く環境⑤: 環境保護

□ 多国間環境協定における貿易措置

- ❖ ワシントン条約(絶滅危惧種)
- ❖ モントリオール議定書(オゾン層破壊物質)
- ❖ バーゼル条約(有害廃棄物:プラスチックごみ、電子ごみ等) 等



□ 税関の貢献(Support the Green Transition)

- ❖ サーキュラー・エコノミー(リサイクル推進)
- ❖ 品目分類の見直し:「ごみ」か「リサイクル品」か
- ❖ データによる環境関連物資の追跡
- ❖ カーボンプライシングと国境課税



18

税関の未来

□ 国境の執行機関として、世界の動きに迅速に対応

- ❖ 国の施策は水際措置を含むことが多い
- ❖ 世界や日本の動きを把握する必要
- ❖ テクノロジーへの対応
- ❖ Agile, responsive to world affairs, stay relevant
- ❖ SMART Customs

□ データの収集、分析

- ❖ モノ、ヒト、現金、運送手段の国境データ
- ❖ 情報の活用
- ❖ 民間との協力



19



Thank you

Borders Divide, Customs Connects

WCO前事務総局長 御厨邦雄

2024年10月8日

www.wcoomd.org

20

臨時社員総会の開催

(一社)日本通関業連合会は、9月2日(月)に臨時社員総会を開催しました。

臨時社員総会では、日本通関業連合会の中州亨常務理事の退任に伴い、後任の常務理事に片田徹氏を

理事に選任する議案について審議が行われ、会員全員の同意が得られたことにより、承認可決されました。

今回の臨時社員総会は、定款第20条(決議の省略)の規定に基づき、書面による賛否の表決で行いました。

令和6年10月1日

一般社団法人 日本通関業連合会役員名簿

(敬称略)

役職名	氏名	現職	備考
会長(代表理事)	岡藤 正策	(株)阪急阪神エクスプレス 相談役	
副会長(代表理事)	辻 克行	(株)北村廻漕店 代表取締役社長	
副会長	錦織 一男	日本包装運輸(株) 代表取締役社長	
副会長	米澤 隆弘	近畿通関(株) 代表取締役社長	
副会長	柘植 要	ナゴヤ SHIPPING(株) 代表取締役社長	
理事	野畑 昭彦	門司港運(株) 代表取締役社長	
理事	喜納 政芳	(株)藤浦通関 取締役会長	
理事	森信 茂樹	東京財団政策研究所 研究主幹	
理事	岡本 哲郎	三菱倉庫(株) 元社長	
理事	石崎 哲	(株)近鉄エクスプレス 元社長	
理事	牧 文春	後藤運輸(株) 代表取締役会長	
理事	熊坂 高	青函フェリー(株) 代表取締役社長	
理事	今村 忠如	中央魚類(株) 代表取締役社長	
理事	山内 卓	三井物産(株) 元副社長	
理事	渡辺 啓子	ボッシュ(株)元アドバイザー・熊本大学監事	
理事	須藤 明彦	(株)大森廻漕店 代表取締役会長	
理事	安藤 恒夫	日本通運(株) 執行役員	
理事	鈴木 英明	(株)二葉 代表取締役社長	
理事	中村 剛喜	(株)ナカムラロジスティクス 代表取締役社長	
理事(専務理事)	今野 孝一	(一社)日本通関業連合会	常勤
理事(常務理事)	片田 徹	(一社)日本通関業連合会	常勤
監事	山崎 元裕	(株)ヤマタネ 代表取締役会長	
監事	石川 健	(株)石川組 代表取締役社長	
顧問	辻 卓史	辻 事業サポート事務所 代表	
顧問	石黒 明博	(株)明正 代表取締役会長	
顧問	澤山精一郎	(株)澤山商会 代表取締役会長	
顧問	曾根 好貞	大東港運(株) 代表取締役社長	

◆ 関税局長との意見交換会 ◆

(一社)日本通関業連合会は、令和6年9月20日(金)にホテルグランドアーク半蔵門において、連合会役員と関税局長との意見交換会を開催しました。

意見交換会には、江島関税局長をはじめ関税局幹部のご出席を得て、岡藤日本通関業連合会会長以下、各役員と通関業会の現況等について意見交換が行われました。

岡藤会長及び江島関税局長の挨拶並びに意見交換会の概要は、以下のとおりです。

岡藤会長ご挨拶

本日は、公務ご多忙のところ、高村関税局長をはじめ関税局の幹部の皆様方にご出席を賜り、ありがとうございます。また、平素より当連合会並びに各地区通関業会の事業、活動につきまして、ご指導ご鞭撻をいただいておりますことに対して、この場をお借りして御礼申し上げます。

高村関税局長におかれましては、関税局・税関関係の仕事は初めてと伺っておりますが、どうかご指導をよろしくお願いします。

通関業を取り巻く状況は、コロナ禍を契機として越境EC貨物の急増により、特に航空フォワーダーにとっては貨物スペースの確保が困難、かつ航空運賃の高騰といった問題に直面しています。一方で、会員の通関業者では越境EC貨物の通関手続きの引き合いがあるものの、コンプライアンス確保等の面でリスクが高く、断っているところが多いと聞いています。また、越境EC貨物の通関を行うために海外系の通関業者の新規参入が相次いでいるわけですが、このような通関業者は我々の通関業会に加入するわけでもありません。

ご当局におかれましては、越境EC貨物を利用した不正物品の密輸入や不正申告の防止の観点から、令和5年度に法改正を実施されましたが、報道によりますと、欧米では事前情報の項目を追加するなど、



更なる取り締まり強化への動きが見られるところです。

連合会では、越境EC貨物に対する対応状況の実態を把握するため、アンケート調査を実施いたしました。後ほど、アンケート調査の結果をご報告させていただきます。

ところで、通関業会の国際的な業界団体として国際通関業連合会(IFCBA)がありますが、IFCBA総会・理事会を来年3月に京都で開催することが正式に決定いたしました。実は、2011年にこの国際会議を日本で開催することが決定していたのですが、東日本大震災の発生により中止となった経緯がありますので、事実上日本での開催は初めてということになります。現時点における会議の概要については、後ほど事務局から説明をさせていただきますが、関税局・税関当局のご支援とご協力を、どうかよろしくお願いいたします。

連合会としては、従来より、通関業界におけるダ

イバーシティ推進の支援、通関士の専門性向上に向けた支援、及び通関業・通関士の認知度向上を重点事業として進めてきているところですが、これら事業につきましても、関税局の皆様には、多大なご支援、ご指導をいただき感謝申し上げます。

とりわけ、現在、関税局が取り組まれている「EPA利用推進に関する有識者勉強会」において、EPAの利用促進を図る観点から、輸出入事業者から低料金で利用できる民間側アドバイザーに対するニーズが高いことが判明したこと、また、輸出入事業者の委員からは、このEPA利用に関するアドバイザーとして通関士が最も相応しいのではないかとのご提案が出されていることをお聞きしました。ご提案については、連合会が数年前から検討してきているマイスター通関士(仮称)と方向性は同じと思っています。

引き続き、ご指導、ご支援をよろしく願います。

本日は、全国各地の通関業会会長・理事長が参加しております。

有意義な意見交換を祈念致しまして、冒頭、私の挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願います。

関税局長ご挨拶

この度、関税局長を拝命した高村です。

岡藤会長をはじめ、役員の方々、会員の皆様におかれましては、日頃から関税政策・税関行政に対して、ご支援・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、このような貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

税関や通関業会を取り巻く環境は、越境Eコマースの拡大に伴う輸入申告件数の急増、経済安全保障上の脅威への対応、技術革新とデジタル化の進展などにより、急速に変化しております。

輸入申告件数の増加は足元で著しく、平成26年に2,300万件であったものが、令和5年は1億



4,000万件と、10年で約6倍に増加している状況です。

こうした中で、来年10月には、輸入貨物が通販貨物に該当するか否か等の輸入申告項目の追加を予定しており、輸入申告件数が増大する中で、厳格な水際取締りと適正かつ円滑な通関の確保の両立を実現することとしております。

輸入申告に際し、通関業者・通関士の皆様から輸入者に確認していただく事項も増加することとなりますが、引き続き、適正な輸入申告をお願いするとともに、一層緊密な連携を図っていきたいと考えております。

次に、経済安全保障上の脅威への対処についてです。軍事転用のおそれのある製品・技術等の不正輸出防止の観点から、税関による厳格な審査等を通じて適正通関を確保する必要があります。通関業者・通関士の皆様を含め、引き続き、貨物の物流等に関わる皆様のご理解・ご協力をいただくことが必要と考えております。

また、日本通関業連合会及び東京通関業会におかれましては、昨年3月及び本年3月に東京税関で開催した「国際物流と貿易の未来を考える学生フォーラム」にご支援いただき大変ありがとうございました。来年2月には、横浜税関で第3回の開催も予定しております。日本通関業連合会及び横浜通関業会には今度もご支援を賜れますと幸いです。

このような機会を通じて、学生の方々に通関業界

や税関行政への理解を一層深めていただくことを期待しております。

最後になりますが、来年3月の国際通関業連合会（IFCBA）の京都世界会議の開催の決定について、お祝い申し上げます。岡藤会長の力強いリーダーシップにより実現したものと思っております。税関・税関としても、出来る限りの支援を行ってきたいと考えております。

以上、簡単ではございますが、日本通関業連合会の一層のご発展、会員の皆さま、本日出席の皆様

の益々のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

意見交換会の概要

高村関税局長のご挨拶に引き続き、日本通関業連合会及び通関業会の会長から来春開催予定の「IFCBA 2025京都世界会議」の開催、業界アンケート結果及び業会の現況について紹介し、意見交換が行われました。



令和6年度 第3回理事会の開催

(一社)日本通関業連合会は、令和6年度第3回理事会を9月20日(金)にホテルグラウンドアーク半蔵門において開催しました。

理事会は、定款の規定により、岡藤会長が議長を務め、次の議案について審議が行われ、原案どおり承認可決されました。

また、令和5年度事業計画の進捗状況等についての報告がされました。

●付議事項●

議案 ・令和6年度「通関業の日」記念日行事に関する件

(会長特別表彰被表彰者の選定について)

報告事項 ・令和6年度事業計画の進捗状況について



事務局連絡会議の開催

(一社)日本通関業連合会は、9月5日(火)に各地区通関業会の専務理事及び事務局長のご出席を得て、令和6年度の事務局連絡会議を開催しました。

会議では、「令和6(事業)年度の活動方針及び現状について」ということで、各地区通関業会から令和6年度の活動状況等について報告していただ

き、意見交換を行いました。

日本通関業連合会からは、ICBA2025京都世界会議の開催、通関情報提供システム(CCIS)の更改、越境EC貨物に係るアンケート結果等について説明・報告した後に、財務省関税局を招きEPA利用推進の取組みについて説明を受けました。



通関業会
だより

函館市 函館山山麓の神社巡り

(函館通関業会)

国内有数の観光地・函館。人口24万人に対して、昨年度はおよそ530万人の観光客が訪れた。中でも人気なのが「函館山」。100万ドルの夜景を求めて多くの観光客が訪れた。

特に混雑しているのが函館山ロープウェイ。今年は円安の影響で国内旅行の需要が高まる中、函館が人気アニメ「コナン」の舞台となったことが追い風となった。ロープウェイは長いときでは80分待ちとなるほどの混雑に。

山頂の展望台には、まだ明るい時間から夜景を見るための観光客が幾重にも列を作っていた。

大型クルーズ船の入港も相次ぎ、観光スポットは

大変な賑わいを見せている。

名所の集中する函館山山麓の西部地区には、歴史ある建築物や坂の上からの景観を楽しむ人々の姿が多くみられる。

今回は、西部地区の異国情緒を感じさせる街並みの中、北海道最古といわれる神社をはじめ、歴史ある神社が立ち並ぶ函館山の山麓を巡ってみたい。

函館観光は、「市電」を利用するのが便利である。ちんちん電車として函館市民に愛されている電車の終点「函館どつく」前駅を下車し神社巡りをスタートする。

同駅の近くにあるのが巖島神社。

巖島神社

同神社は、弁財天と習合された市杵島姫（いちきしまひめのみこと）をお祀りしており、創建は江戸時代前半と伝えられている。

境内には、寄進された貴重な遺物が多く、1823(文政6)年寄進の手水石鉢をはじめ、1837(天保8)

年に加賀の廻船主たちが寄進した鳥居や1854(寛永7)年、海上安全のため奉納された方位石がある。

海の街函館にふさわしく、海上の安全を守る神として崇拝を受けてきており、函館の歴史を感じさせられる神社となっている。



市電「函館どつく」前駅の傍に建つ社殿

函館山の麓は、海と山のさまざまな景観を演出するのが「坂」である。厳島神社からなだらかな「魚見坂」を上り、麓沿いに「船見坂」、「千歳坂」を通

り「幸坂」を上り切ったところに鳥居と社殿が見えるのが「山上（やまのうえ）大神宮」

山上大神宮

山上大神宮は、山の木々に囲まれひっそりとたたずむ。

幕末の頃、8代宮司であった沢辺琢磨は、土佐藩士坂本龍馬、武市半平太と親戚関係にあったほか、新進的な人物で函館からアメリカに密航した新島襄を手助けしたともいわれる。

箱館戦争の時、榎本武揚率いる旧幕府軍に加わった桑名藩主松平定敬の御座所に使用されるなど、歴

史的にも見どころのある神社である。

同神社は、天照皇大神をはじめ、10柱もの神々を祀り、見晴らしがよいことで知られ、朝日が見える神社として評判である。



山上大神宮から見た幸坂と函館港

幸坂から日和坂に向かう途中に旧函館区公会堂の洋館造りを眺めながら巡って行くと「日和坂」の上がりきったところに社殿が見えるのが船魂神社。

「船魂神社（北海道最古）」

崇徳天皇の時代、保延元年（1135）融通念仏宗開祖、良忍上人という高僧がこの地に着き、この処は、神霊の宿るところと里人に言い伝えた。本州と北海道に渡る津軽海峡は海流の激しいところで、海難事故が多かったので海上安全を願って神社を祀ったという。

北海道では最古の神社である。

函館港の安全と港湾作業に従事する人達の安全と繁栄を願って参拝者が多い。

祭神は、潮流の神「塩土老翁神（しおつちのおじのかみ）」、海をつかさどる神「大綿津見神（おおわたつみのかみ）」、八方除、厄除、病気平癒の神「須佐之男神（すさのおのかみ）」。

また、鎌倉時代の始めの1190年、源義経一行が津軽から渡航したとき、遭難しそうになったところを船魂明神の加護で無事上陸したという言い伝えがある。



船魂神社から「日和坂」を下り元町公園を見ながら、ハリストス正教会、カトリック教会を左右に過ぎると「二十間坂」に出る。さらに函館山ロープウェイ

イ山麓駅を過ぎると広い「護国神社坂」に出、右手に朱色の大きな大鳥居が現れる。

函館護国神社

函館護国神社は、1869（明治2）年に箱館戦争で殉職した政府軍兵士を祀る招魂社として創建され、1939（昭和14）年に函館護神社と改称された。昭和17年に造営された社殿は、多くの他の護国神社様式で流れるようなカーブを描いた屋根が特徴で

ある。神社では珍しい朱色の大鳥居からは函館市街や津軽海峡を眺望することができる。

函館山を背にした緑の芝生は、参拝者の憩いの場でもあり、夏場にはキタキツネの親子が遊んでいる姿が見られることもある。



函館護国神社は、実は縁結びの神社として知られ、境内には不苦労に通じる「なでフクロウ」の像がおかれている。ご利益にあやかるうと若いカップルなど参拝者のなで姿が時折見られる。



参道に建つ大鳥居

護国神社から青柳町・立待岬方向に進むと函館市民が憩う、昔ながらのレトロな雰囲気の魅力の函館公園に出る。同公園内を散策しながら公園西側出入口から八幡宮参道に出ると右手に鳥居が現れ奥には函館八幡宮にのぼる階段が見えてくる。

函館八幡宮

函館八幡宮は、室町時代の1445年に亀田群の領主河野政道が函館に館を築いた折、館内に八幡宮を祀ったのが起源とされる。

1915年（大正4）年に完成した現在の社殿は、本殿、幣殿、拝殿が連続した「聖帝八棟造り」と言

われる形式である。函館山の緑に抱かれて津軽海峡を見おろすように建ち、威厳のあるたたずまいを見せている。

開拓、航海、漁業の守り神とされ、市民からは「八幡さん」の愛称で親しまれている。



函館八幡宮参道

毎年1月2日には、どさんこに流鏝馬装束の騎手が乗り、本殿へと続く急斜面の石段134段を登る騎馬参拝が行われる。

碧血碑

函館八幡宮の近くに箱館戦争での旧幕府軍の戦没者（約800名）を供養する碧血碑がある。同宮正面に向かって左手の裏参道を歩いていくと案内標識があり、階段を登っていくと近くに碧血碑がある。



碧血とは「義に殉じて流した武人の血は3年たつと碧色になる」との中国故事。

函館山麓に広がる西部地区は、歴史的港湾施設やハイカラ洋風建築が観光スポットになっているが、他方で、歴史のある重厚な建物も目に引く神社・仏閣

が多く所在する。函館を訪れた際には隠れた観光スポットとして巡ってはいかがでしょうか。

各通関業会業務報告

東京

- 8月1日 学生フォーラム打合せ（財務省）
8日 役員会
20日 国際物流管理士資格認定講座 打合せ
22日 大井通関協議会女性連絡会
27日 本関通関協議会HS女性部会
9月6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
10日 公正取引委員会との打合せ
11日 二水会、役員会
12日 国際物流管理士資格認定講座 講師派遣（通関士部会）
13日 通関士部会委員会
19日 大井通関協議会女性連絡会
// 本関通関協議会HS女性部会
20日 関税局長との意見交換会（連合会）
// 本関通関協議会
26日 成田通関協議会
// 羽田通関協議会
27日 大井通関協議会

横浜

- 8月2日 ダイバーシティ横浜ミーティング
22日 アンケート委員会
29日 総務委員会
9月2日 研修委員会
// 講師打合せ会議
5日 アンケート委員会
6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
10日 本関地区通関協議会
11日 宇都宮地区通関協議会
12日 通関士部会三役会
18日 情報委員会
// 千葉地区通関協議会
19日 大黒地区通関協議会

- 19日 宮城地区通関協議会
// 川崎地区協議会
20日 業務委員会
// 関税局長との意見交換会（連合会）
26日 横須賀地区通関協議会
27日 横浜通関業会理事会
// 横浜税関・横浜通関業会との三木会

神戸

- 8月8日 通関士部会 総務委員会
21日 通関時報8月号発行
22日 連合会研修支援
9月4日 通関士部会 総務委員会
6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
20日 関税局長との意見交換会（連合会）
// 通関時報9月号発行
22日 「知ってはりまっか大阪」セミナー
26日 通関士部会役員会

大阪

- 8月21日 通関士部会 総務委員会
// 通関士部会 業務委員会
// 通関士部会役員会・税関担当官との連絡会
28日 通関事務連絡会
9月4日 通関士部会 舞鶴地区協議会
6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
11日 令和6年度（第2回）新任通関業務従業者研修
18日 NACCS講習会（輸出入通関）
20日 関税局長との意見交換会（連合会）
25日 通関事務連絡会
26日 令和6年度 大阪通関業会第2回理事会
// 税関幹部との連絡会議

名古屋

- 8月1日 四日市支部役員会
// 四日市支部二木会
4日 原産地規則研修
5日 一木会・通関士部会幹事会
6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
10日 本関通関事務研究会
// 清水支部通関士部会定例会
11日 四日市支部通関非違防止対策研修
12日 原産地規則研修（空港）
17日 清水支部沼津通関懇話会
18日 通関懇談会
// 中部空港通関事務研究会
// 清水支部浜松通関懇話会
19日 西部通関事務研究会
// 清水支部通関事務研究会
// 豊橋地区通関事務研究会
20日 関税局長との意見交換会（連合会）
24日 清水支部興津通関事務担当者連絡会
// 清水支部原産地規則研修
// 四日市支部通関事務研究会
// 四日市支部通関士部会幹事会
25日 清水支部田子の浦通関事務担当者連絡会
26日 清水支部原産地規則研修（浜松）
// 清水支部御前崎通関事務担当者連絡会
// 清水支部焼津通関事務担当者連絡会
// 諏訪地区通関懇談会

門司

- 8月1日 四日市支部役員会
// 門司通関業会通関士部会関門支部下関地区会議
27日 会員周知「令和6年度門司通関士部会定時総会の案内」について
9月6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
20日 関税局長との意見交換会（連合会）

函館

- 8月1日 会員名簿配布

- 4日 密輸撲滅キャンペーン（室蘭）
22日 令和7年輸出入統計品目表の改正に係る要望について
29日 通関業務連絡会（函館・小樽・千歳・札幌・釧路・苫小牧・室蘭・石狩・八戸・秋田船川）
9月2日 「通関業者によるEPAに関連する業務についてのアンケート調査」への協力依頼について
4日 会員周知：令和6年度「通関業の日」記念日講演会の開催について
6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
10日 女性通関士委員会及びダイバーシティ推進会議の開催について
// 翌週分を替レートの反映時間の変更について
20日 関税局長との意見交換会（連合会）
27日 通関業務連絡会（函館・小樽・千歳・札幌・釧路・苫小牧・室蘭・石狩・八戸・秋田船川）

長崎

- 8月1日 ダイバーシティ企業ヒアリング鹿児島地区
23日 九州STARS会員応募締切
27日 ダイバーシティ企業ヒアリング志布志地区
9月6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
10日 九州STARS役員決定
12日 通関士部会役員会の日程案内
// 九州STARS役員会の日程案内
20日 関税局幹部との意見交換（会長）
// ロシアを原産地とする非工業用ダイヤモンドの輸入について
28日 NACCS通信（通関22）の配信

沖縄

- 8月2日 会員周知「NACCS関連資料」の送付
9月6日 日本通関業連合会 事務局連絡会議
20日 関税局長との意見交換会（連合会）

訃報のおしらせ



日本通関業連合会 前会長 鈴木 宏 儀 去る令和6年9月30日
逝去いたしました（享年83歳）

ここに生前のご厚誼を感謝し、謹んでお知らせ申し上げます



発行所：一般社団法人 日本通関業連合会

東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8階
TEL: 03-3508-2535 FAX: 03-3508-7796
E-mail: jcba@tsukangyo.or.jp
URL: <https://www.tsukangyo.or.jp/>



編集兼発行人：片 田 徹

※本会報からの転載については、あらかじめご連絡下さい。